**The Quality Horizon – Welcome to IAQG!**

**（**[**https://www.buzzsprout.com/2004393/11069979-welcome-to-the-iaqg**](https://www.buzzsprout.com/2004393/11069979-welcome-to-the-iaqg)**）**

２０２２年8月2日配信

要約

ポッドキャストのホスト、スーザン・マトソンが、BAEシステムズ社エアセクターの品質担当ディレクターでIAQGの会長でもあるアンディ・マハー氏と対談しています。会話では、IAQG（国際航空宇宙品質グループ）の目的、構成メンバー、活動内容、そして今後の展望について語られています。マハー氏は、IAQGが業界標準を調和させる重要性や、デジタルプラットフォームの改善、未来の展望についても説明しています。

* **IAQGの紹介**
	+ IAQGは国際航空宇宙品質グループで、業界の要求事項を調和させ、品質と納期の確保を目指す。
* **メンバー構成**
	+ 約70の組織から成り、大手航空宇宙企業から防衛や宇宙分野の組織までが参加。
* **調和の意味**
	+ 個別の要求事項を統一し、業界全体で一貫した基準を設定。
* **グローバルな活動**
	+ ヨーロッパ、アメリカ、アジア太平洋の3つのセクターがあり、広範囲な国と組織が関与。
* **会員の種類と役割**
	+ 正会員、準会員があり、会員は基準の設定やプロセスの変更に発言権を持つ。
* **将来の展望**
	+ デジタルプラットフォームの改善やデータ分析機能の導入を目指している。
* **活動の裏側**
	+ ボランティア団体として、専門家によるワーキンググループが定期的に会合し、イニシアチブの立ち上げや運営を行う。
* **新しい人材の取り込み**
	+ アーリーキャリアのプログラムを通じて、新しい才能の育成や業界への参加を促進。

＝＝＝＝＝

スーザン：こんにちは、IAQGクオリティ・ホライズンズ・ポッドキャストへようこそ。ホストのスーザン・マトソンです。今日は、BAEシステムズ社エアセクターの品質担当ディレクターで、IAQGの会長でもあるアンディ・マハーさんにお越しいただきました。ようこそ、アンディ。

マーさん： お招きいただきありがとうございます。IAQGの最初のポッドキャストを担当できることを楽しみにしています。

スーザン：その通りです。これが最初のポッドキャストです。IAQGが何なのかよく知らない人のために、少し教えていただけますか？IAQGは何の団体ですか？なぜ存在するのですか？

マハー： IAQGとは、国際航空宇宙品質グループのことです。業界の要求事項を調和させ、要求事項を満たした製品を納期通りに提供できるようにするために存在します。例えば、私たち消費者が休暇を過ごすとき、安全に飛行機を利用し、休暇を過ごす準備が整った状態で到着できるようにするためです。

スーザン：安全性は大きな要素です。このシステムには誰が参加しているのでしょうか？個人ですか？企業でしょうか？誰なのでしょう？

マハー： IAQGは、大規模な航空宇宙産業のプライム企業から、防衛分野の保守を行う組織、宇宙分野の組織まで、およそ70の組織で構成されています。大小さまざまな組織が組織に貢献していることの利点は、ある日、ある組織があるプログラムのプライムになるかもしれないということです。

マハー： また別の日には、他の組織のパートナーになるかもしれませんし、場合によっては、メンバーである組織がそれらの組織の顧客になるかもしれません。ですから、業界をひとつにまとめて要件を調和させることで、私たちは確実に価値を提供し、その価値を効率的かつ効果的に提供しつつ、品質も満たすことができるのです。

スーザン：「調和する」と2回もおっしゃいましたね。調和させるとはどういう意味ですか？IAQG以前には存在しなかったものですか？

マハー： IAQGは、個々のメンバー企業すべての要求事項を調和させ、一つの規格から一つの標準を発行できるようにしています。サプライチェーンを評価し、品質マネジメントシステムを評価するための仕組みや方法について合意しているので、業界はサプライチェーンに全員を送り込む必要はありません。

マハー： つまり、個々の組織が各サプライヤーに立ち入る必要がなくなるという点で価値が生まれるわけです。私たち全員が満たすべき共通の基準があるのですから。そして、その先にあるもの。業界の管理スキームだけでなく、私たちは追加的な基準も導入しており、それらの基準もまた、組織が同じ方法論と技術を使って実施できるように調和させています。

マハー： 私たちは、根本原因分析や高度な製品品質計画のような追加的なものを調和させ、不良品ゼロを一貫して達成できるようにするために、このような基準を導入することで、業界のレベルを効果的に高めています。

スーザン：一貫性というのはとても重要で、巨大で、安全性でもありますが、私が最も興味深いと思ったのは、IAQGがグローバルであるということです。

マハー： マハー：グローバルです。3つのセクターがあります。ヨーロッパのセクター、アメリカのセクター、そしてアジア太平洋のセクターです。そしてこれらのセクターの中で、私たちは大半の国にまたがっています。その観点からは、国別グループだけでなく、各組織の個人、さらには航空・宇宙・防衛に関わるサプライチェーン全体が関与する、まさにグローバルなスキームです。

スーザン：そのメンバーとは？組織ですか？個人ですか？

マハー： IAQGの会員には3つのレベルがあります。正会員は27名の投票権を持つメンバーです。そして、IAQGの会員である準会員がいます。IAQGのメンバーは産業界から構成されています。

マハー： 70社以上の企業のうち、正会員は27社で、IAQGの方針や手順について最高レベルの投票を行うメンバーです。それから準会員もあり、このような会員には、ジョイント・ベンチャーを持つ組織で、完全所有ではないから準会員になれる場合もありますし、IAQGのビジョンにはそれほど貢献できないけれども、参加したいという小規模な組織もあります。

マハー： また、他の組織の一部門であっても、知名度を高めたい、あるいは同じように全国的な組織の業界団体でありたいと考える組織も、加盟して情報を得たり参加したりすることができます。

スーザン：なぜ参加する必要があるのですか？

マハー： 正直な答えは、2つあります。将来、私たちが開発するかもしれない基準について発言権を持つことができるだけでなく、私たちがプロセスや基準を変更したり、更新したり、強化したりするときにも発言権を持つことができるのです。

マハー：しかし、第二に、より重要なのは、航空宇宙・防衛分野全体のネットワークだと思います。ですから、私は他の組織のカウンターパートに会えるようにするために、私たちが持っているメンバーシップを利用しています。そうすることで、このグループの一員でない場合よりも効率的に仕事を進めることができるのです。

スーザン：アンディさんは、いつからIAQGに参加されているのですか？

マハー： IAQGに入って約8年になります。最初はヨーロッパのセクター・メンバーとして参加しました。数年間はヨーロッパのセクターを率い、ここ2年半は会長を務めています。

スーザン：この8年間、あなたは明らかに多くの出来事を見てきたわけですね。IAQGの行く末をどうお考えですか？

マハー： これまで私たちは、ある種の集団的な性質や、調和、標準を設定する能力についてたくさん話してきました。もし私が将来を見据えて、誰も水晶玉を持っているわけではありませんが、もし水晶玉を覗いて、この組織がどこにあってほしいかを判断するとしたら、この組織はもっと機敏であってほしいと思います。

マハー： また、OASISの次のバージョンや、私たちが移行しようとしている単一の投票・発行プロセスに関することを、皆さんも目にしたり耳にしたりするでしょう。しかし、このデジタルスレッドと機敏に行動する能力によって、IAQGの将来的な居場所は確保されるでしょう。

マハー： 現在のようなアプローチでは、市場に出るまでに時間がかかると思われているかもしれません。私たちがやっていることのいくつかは、その敏捷性を向上させ、私たちの、つまり私たちのコミュニティの努力を、最も迅速な方法でより広い市場に届けることができるようにしようとしているのです。

スーザン：そして、アジリティは昨年、本当に重視された。多くのことが明らかになり始めています。市場投入の迅速化について、もう少し詳しくお聞かせください。

マハー： デジタル・プラットフォームに関して、いくつかの仕事がまとまりつつあります。私たちはパンデミックの直前にマイクロソフトのTeamsに移行しました。当時は、なぜこんなものが必要なのかと言われたかもしれません。電子メールがあるから大丈夫だ。しかし、パンデミックの際には、私たちのコミュニティが効果的なコミュニケーションを継続できるようになったことで、明らかに10倍の利益をもたらしました。

マハー： もうひとつは、Oasisの次期バージョンについてです。オンライン航空宇宙サプライヤー情報システムです。私たちは、ハードワイヤードのアーキテクチャからクラウドへと移行しつつあります。そしてそのクラウドの中で、より多くの機能を提供しています。ユーザー・インターフェースはより明確になり、画面をクリックしやすくなりました。

マハー： ええ。それは本当に有益なことです。以前のバージョンからの情報もすべて引き継いでいます。ですから、検索機能はまだ残っています。しかし、私が本当に嬉しく、付加価値があると思うのは、この新しいシステムで実行できる分析機能です。データという点で、本当に将来を見据え、私たちの組織を改善するために分析を実行できるようになります。

マハー： そのほかにも、IAQGのバックオフィス業務をできるだけ合理化するために、さまざまな取り組みを行っています。ですから、財務上の取引やビジネスとしての運営方法に関しても、今後前進していくでしょう。

スーザン：でも、あなたはまだボランティア団体で、ビジネスとして運営している。あなたは多くの仕事をし、業界に多くの価値をもたらしている。[正直なところ、それはどうやって行われているのですか？委員会や働く人々のインフラはどうなっていますか？どのように行われているのですか？

マハー： 私たちは、このようなワーキンググループに集まって専門知識を提供してくれる素晴らしい人たちを集めています。私たちは伝統的に年に2回、正式な国際的グループとして会合を開いています。その1週間で、一連のミーティングを行い、スキームの管理方法から、将来的に適用される可能性のある新しい基準まで、あらゆることを取り決めます。

マハー： そうすることで、業界全体や業界内のさまざまなサブセクターに一貫性のあるアプローチを提供することができると考えているからです。もうひとつ、私たちがイニシアチブを立ち上げると、会員名簿を通じてボランティアの募集が行われます。

マハー： ですから、もしあなたの組織がメンバーで、その名簿に登録されていれば、そのイニシアチブが紹介されるでしょう。ですから、私たちがデジタル化を進めたことには本当に満足しています。ほんの数年前までは、紙のファイルが回ってきて、名前を確認するのが常だった。それが今では、データベースで管理され、Eメールを自動送信できるなど、現代と同等の機能を備えています。

スーザン：それは素晴らしいですね。でも、私はちょうど1ヶ月ちょっと前に、アンディさんと2年ぶりくらいに対面しました。どんな感じでしたか？

マハー：観客の皆さんにもいつも話しているのですが、2、3年会っていなかった人たちに会って、多くの人たちが笑顔になっているのを見るのは本当にうれしいものです。再会したのです。このコミュニティーの一員として、人々は何年もかけて友情を築いていきます。

マハー：コーヒーやランチを取りながら、チームやWebexなどのプラットフォーム環境では見逃してしまうような会話をすることができます。人々の顔を見るのは本当に楽しいですし、人々の笑顔を見るのは本当にいいことです。また、チームが対面している間に最大限の貢献ができたと感じた週の成果を見るのも本当にいいことです。

スーザン：そうでしょうね。アンディさん、もしIAQGと、IAQGが組織や業界、そして世界中の一般市民に価値をもたらしているすべてのことを説明するとしたら、どのように説明しますか？その一言は何でしょうか？つまりIAQGということです。

マハー：一言で説明できるかどうかはわかりません。簡潔な言葉をお探しなのはわかりますが、すでにいくつか申し上げたと思いますので、集合体です。それは間違いなくハーモナイゼーションです。要件を設定し、基準を作成します。

マハー：業界の声を代弁するものです。私たちが目指す方向はこうで、こういったものが私たちの望むものであり、業界として発表し、その一貫性を確保することができるのです。

スーザン：それは素晴らしいですね。IAQGとして、あなたは2期目ですね？

マハー：そうです、2年目、3年目です。そうですね。

スーザン：これまでで最も大きな成果と、まだこれから最もエキサイティングな仕事が待っています。前にも話したと思うのですが、もう少し言い直してもらえますか？

マハー：ですから、多くの人はこれを目にしないと思います。その陰で、私たちはビジネスの運営を可能にするという点で、素晴らしい仕事をしてきました。ですから、人々はそれを当然のこととして受け止めているのです。これは本当にハイライトです。デジタルの糸、デジタル戦略は、個々の時代遅れのプラットフォームからの移行という点で知られていると思います。新しいプラットフォームに移行することで、私たちが将来何をしたいのかが見えてきます。それは本当に重要なことでした。

マハー：国際的な認定フォーラムにスキームを認めてもらうこと。これは最終的なプロセスです。近い将来、その詳細が発表されるでしょう。これはIAQGにとって重要なマイルストーンですが、私はこう考えています。最も重要なこととして、私は、分析的な部分、システムによるデジタル保証を行い、それをチームにフィードバックする能力、データを得ることで、規格をどのように変更し、どのように価値を高めていくかについて、インテリジェントな意思決定ができるようになることを本当に楽しみにしています。そうすることで、私たちがどのように規格を変更し、どのように価値を高めていくかについて、賢明な判断を下すことができるようになるのです。

スーザン：その価値には、多くの人的努力とエネルギーが含まれています。あなた方は、組織はどのように人を集めているのですか？この業界に新しい人たちが入ってきて、キャリアの早い人たちが育っていく。

マハー：ええ、とてもいい質問で、実に興味深い指摘です。個々の組織を見渡してみると、今後10年から15年の間に定年退職を迎える人の数が多いことがわかっています。この業界では定年退職を迎える人が急増します。だから私たちは、新しい才能をどのように取り込むか、新しい人材をどのように取り込むかに目を向けなければならないのです。

マハー：新しいウェブサイトを立ち上げて以来、受賞歴もあります。私たちは、本来なら関わることのない個人やその他のグループからたくさんの連絡を受けるようになりました。

マハー：COVIDの前に、各セクターでアーリーキャリアのための活動を開始しました。最近、各部門の会議を通じてこれらの取り組みが議論されたので、アーリーキャリアの取り組みが再び導入されることを期待しています。大学院プログラムやインターンシップで、新しい世代の人たちをIAQGに招き、その人たちがIAQGのプロセスを理解し、やがて引退したり、航空宇宙事業から撤退したりするかもしれない人たちから知識を学ぶことができるようにするのです。そうすることで、IAQGを前進させ続けられるような勢いと人材の層を築き上げることができるのです。

スーザン：それは素晴らしいですね。私たちは常に将来を見据える必要がありますし、それがセクターを問わず、またグローバルに広がっているのは素晴らしいことです。これは私たちの最初のポッドキャストであり、今後多くのポッドキャストを配信するための最初のポッドキャストでもあります。IAQGが業界と分かち合うためにしていること、良いことを一つでも増やしたいとお考えですか？

マハー：まとめると、個人の日々の生活の中で行われている非常に多くの良い仕事があり、それは毎日毎日行われているということです。だから、私は組織に貢献してくれているすべての人々に心から感謝したいです。なぜなら、彼らは仕事や家庭生活で他のプレッシャーを抱えていることが多いからです。先週であれば、私は電話をしていて、人々が執行委員会に貢献している間、日本の10時でした。

マハー：完璧な環境ではないことは承知していますが、結論から言うと、成長するには素晴らしい環境です。知識ベースを増やすための素晴らしい支援的な環境であり、組織を通じてインキュベートしてきた考えやアイディアが、最終的に要求事項や規格として出版されるのを見るのは、本当にやりがいのある環境です。だから、これからも頑張ってほしいです。近い将来、これらの成功のいくつかを祝えることを本当に楽しみにしています。

スーザン：そして、このエピソードを締めくくる素晴らしい方法です。IAQG会長のアンディ・マハーさん、ありがとうございました。IAQG Podcastのホスト、スーザン・マトソンです。次回まで。ご安全に。